XML with Visual Basic

とりこびと＠わんくま同盟

# Visual Basic での XML の作成

## XML リテラル

XML を Visual Basic コードに直接組み込むことができる。

<name [ attributeList ] />

<name [ attributeList ] > [ elementContents ] </[ name ]>

## XML ドキュメント リテラル

XML リテラルを <?xml version="1.0"?> から始めることで、XML ドキュメントを作成できる。

<?xml version="1.0" [encoding="encoding"] [standalone="standalone"] ?>

[ piCommentList ]

rootElement

[ piCommentList ]

## 埋め込み式

埋め込み式を使用すると、実行時に評価される式を含む XML リテラルを作成できる。

<%= expression %>

# XML リテラルと XML 1.0 仕様

・XML リテラルの中にドキュメント型定義は指定できない。

・XML ドキュメント リテラルは、XML ドキュメント宣言から始める必要がある。

・XML リテラルでは、1 行に 65,535 を越える文字は使用できない。

・XML 名前空間プレフィックス、要素名、および属性名では、1,024 文字を越える文字は使用できない。

# System.Xml.Linq 名前空間

## System.Xml.Linq 名前空間

XElement クラス：XML 要素を表す。

XDocument クラス：XML ドキュメントを表す。

XAttribute クラス：XML 属性を表す。

XAttribute クラス：XML 属性を表す。

XDeclaration クラス：XML 宣言を表す。

XCData クラス, XComment, XNameSpace, etc … 。

# Visual Basic での XML へのアクセス

## XML 名前空間 と XML IntelliSense

XML スキーマ定義 (XSD: XML Schema Definition) ファイルをプロジェクトに追加し、スキーマの対象名前空間を Imports ステートメントを使用してインポートするとXML IntelliSense が機能する。

## 軸プロパティ

XML 属性軸プロパティ

Object.@Attribute

XML 子軸プロパティ

Object.<Child>

XML 子孫軸プロパティ

Object...<Descendant>

拡張インデクサ プロパティ

object(index)

XML Value プロパティ

object.Value

# LINQ to XML

## LINQ

IEnumerable　（System.Collections 名前空間）

IEnumerable(Of T) 　（System.Collections.Generic 名前空間）

## LINQ to XML

Extensions クラス　（System.Xml.Linq 名前空間）

## LINQ to XML　(Visual Basic)

埋め込み式を利用してXML リテラル に対してLINQ を使用できる。